

2024 年度 第 3 回 一宮駅周辺地区デザイン懇談会 議事概要

1. 日時

2025 年 2 月 5 日（水）13 時 30 分～16 時 15 分

2. 出席者

別紙のとおり

3. 議題

- （１）デザイン計画の検討状況について
- （２）第 5 回まちなかを考えるシンポジウムのプログラム
- （２）委員による意見交換
 - ・デザイン計画の検討状況について
 - ・第 5 回まちなかを考えるシンポジウムについて
 - ・次年度以降の進め方について

4. 議事概要

- ・事務局から資料に沿って議題の内容を説明した。
- ・議事について意見交換を行った。

5. 主な意見（抄）

- ・銀座通りについて、反対意見があり議論をまとめることに時間を要することは承知している。市民全体の中には期待している人がいる一方で、一部の反対意見によりやめてしまう方針転換はよくなく、丁寧に説明すべきと思う。
- ・期待する意見と否定的な意見がある。反対意見はゼロにはならないと考えているが、何をもってやる、やらないというのを決めているのか。期待していた市民に対する説明責任もある。
- ・インフラは、一般市民からすると変化がわかりにくい割にコストがかかる印象がある。駅前が目に見えて変化する形で工事しなければいけないという状況はチャンスであり、それを活かしていくのが重要ではないか。
- ・次のシンポジウムで、これまで期待していた方に対してもきちんと説明する必要がある。
- ・一宮では未来を見ようとしている人はごく少数で、マジョリティではない。多数決でよいのかという思いもある。
- ・誰もが認める地元の人が前向きでなければ、まとめていくことが難しい。
- ・ホンマチチャレンジは、当初は参加者も少ない状況だったが、試行錯誤してイベント的な利用も織り交ぜながら取組みを進めてきた。商店街も、徐々に好意的な意見が出てきたり、これまでとは異なる参加者が出てきたりと少しずつ状況が変わってきた。具体的なアクションを通して、まちの人に見せていく取組が大事だと思う。

- ・ 取り組みを継続して実施し、やれるところで重点的に行うことで風景として見せていくことが望ましい。
- ・ 沿道の巻き込みは地道に仲間を作っていくしか手がないが、手続きがあまりに重たいと動きが止まってしまう。
- ・ 新しい参入に伝播していく空気感を醸成することも必要。

以 上